

ソフトバンク株式会社 から提出された各周波数帯の 実施状況の概要及び確認の結果

平成29年度第4四半期 (平成30年1月～3月)

この資料は、ソフトバンクモバイル株式会社(※1)によるワイモバイル株式会社の吸収合併に伴う認定開設者の地位の承継について、総務省が平成27年3月31日に許可(※2)を行う際に、
○キャリアアグリゲーション技術の導入など今後の利用方策が示された周波数帯域に関して、実施状況を四半期ごとに総務省に報告すること。なお、当該実施状況の確認の結果については、総務省のウェブサイトにて公表する。
と条件を付したことに基づいて、ソフトバンク株式会社から提出された各周波数帯の実施状況の概要をとりまとめ、確認の結果とともに公表するものである。

※1 平成27年7月1日からソフトバンク株式会社に社名変更。

※2 関係報道資料 (http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000218.html)

＜報告概要＞

ソフトバンク株式会社は、900MHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯及び3.5GHz帯においてキャリアアグリゲーションを導入し実施している。また、3.5GHz帯については、2016年12月にサービス開始したところ。各周波数帯の実施状況は下記のとおり。

1 各周波数帯の実施状況

＜700MHz帯＞

- ・終了促進措置を実施しているところ。

＜900MHz帯＞

- ・LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。

＜1.5GHz帯＞

- ・2017年4月より、LTEサービスの提供を順次実施しているところ。

＜1.7GHz帯＞

- ・LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。
- ・2018年2月以降、1.7GHz帯において15MHz幅を用いたLTEサービスを順次実施しているところ。

＜2GHz帯＞

- ・LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。

＜2.5GHz帯＞

- ・他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。

＜3.5GHz帯＞

- ・2016年12月にサービスを開始。
- ・他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。

2 その他

特記事項はない。

＜確認結果＞

各周波数帯に関する実施状況について、900MHz帯、1.7GHz帯及び2GHz帯においてもLTE-Advancedを採用していることの報告を受けた。また、2018年2月以降、1.7GHz帯において15MHz幅でのLTEサービスを順次実施しているとの報告を受けた。引き続き各周波数帯の実施状況を注視することとした。